

シンポジウム

『 目指すべきよい指導とは？：それぞれの現場の How to Coach 』

6月2日（土）15：30－17：00 2号館211教室

司会：平田 大輔（専修大学）

アスリートの競技力向上において、コーチの存在は大きい。テニス競技においても最新のスポーツ科学の導入、競技に対する専門知識、対戦相手の分析、戦術・戦略アドバイス、メンタル面のケアなど、その役割は幅広く、多くの知識が必要になっています。またテニスの指導の現場は幅が広く、テニススクール、ジュニア選手、大学生、プロ選手と様々な現場があり、コーチはプレーヤーに応じた指導が必要になります。それだけに、コーチの言動や行動（コーチング）は選手に多大な影響を与えています。

そこで本シンポジウムでは、それぞれの立場のコーチから目指すべきよい指導についてお話を頂き、コーチのあるべき姿について考えるきっかけにいただければと思います。

シンポジスト：

伊藤雅充 氏（日本体育大学 体育学部 コーチ学研究室 教授）
（コーチングエクセレンスセンター長）

中嶋康博 氏（VIP・TOP インドアテニススクールグループ GM）
（ニッケテニスドーム校長）

横松尚志 氏（日本テニス協会コーチング委員会常任委員）

宮地弘太郎 氏（大阪体育大学 体育学部 教授）
（テニス部監督 ユニバーシアード監督）

齋田悟司 氏（株式会社シグマックス パラリンピアン）
2003年 世界車椅子テニスプレーヤー賞 受賞
2004年 アテネパラリンピック 金メダル（ペア国枝慎吾）
2008年 北京パラリンピック 銅メダル
2016年 リオパラリンピック 銅メダル

